

平成23年度 医学教育企画室会議

議 事 要 旨

日 時：平成23年4月11日（月） 11：00～12：10

場 所：附属病院3階 地域医療部カンファレンス室

出席者：室 長 石田 肇
室 員 青木 一雄 大屋 祐輔
山岡 章浩 小宮 一郎
宮田 裕史 武村 克哉

欠席者：室 員 栗田 久多佳 平田 哲生

列席者：事 務 武富学務課長 比嘉学務課長代理
医学教育企画室 比嘉みさき係員
黒木教務係員
瑞慶覧事務員（地域医療部）

審議事項

1. 平成23年度計画について

(1) 医学教育企画室員選出について

石田室長から、資料1に基づき、昨年度までの構成員の村山教授が附属病院長に就任したことに伴い、新たに教員を選出する必要があることの説明があり、設置要項第3条第3項第1号に規程する教員として、大屋室員、同条同項第2号に規定する教員として、加藤教授が推薦され、医学部教授会に諮ることになった。

また、学務課長から、医学教育企画室設置要項を改正したい旨の説明があった。

(2) 医師国家試験対策について

石田室長から資料2に基づき、今年の医師国家試験の合否結果について、説明があった。

医学教育企画室では、今後の合格率を上げるために、医学科同窓会及び医学科後援会と連携し、情報収集を行いながらアプローチをしていくこと、在学生に対しては、早期に試験勉強への意識を上げるために、春模試（MEC）の受験料を全額負担し、受験させる等の対策を検討していく。

また、本学部としては、既卒生が学内にて自習が出来る環境を整えること、卒業試験担当講座へ国家試験を意識した作問を依頼すること、実施した卒業試験の問題を全講座から提出してもらうこと、卒業試験の合格条件を引き上げること等の意見があり、検討することになった。

(3) M4 学生離島へき地病院実習について

石田室長から、資料3に基づき、昨年度と同様に、公立久米島病院、県立宮古・八重山・北部病院にて実施する方向で、各実習先の担当教員については以下のとおりとなった。

- ・公立久米島病院（武村委員）
- ・県立宮古病院（小宮委員）
- ・県立八重山病院（宮田委員）
- ・県立北部病院（平田委員）

2. 平成23年度沖縄県医師修学資金等の貸与内定状況について

石田室長から、資料4に基づき、本年度の沖縄県医師修学資金等貸与内定者状況について説明があり、また、今年度留年した地域枠学生について、今年度分は、医師修学資金の貸与がないと県から報告があった。

大屋室員から、今後の地域枠学生への教育や、役割についてのコンセプトを教員の中でディスカッションし、早急に固める必要があるとの意見があった。

報告事項

1. 平成22年度中期計画実現経費事業について

3月末で終了した中期計画実現経費事業内容として、佐賀大学小田先生によるFD講演会から始まり、旭川研修、学生セミナーと充実した内容であったことから、今年度の本事業へも応募することで準備を進めていくことになった。

2. 学生学習サポート事業について

本事業について、地域枠学生の教育方法の一つとして、チューターを活用した学習支援を行う事業で、今年度も応募する方向となった。